

別紙2 非機能要件

1 システム環境要件

- (1) サーバやクライアントのOS、ブラウザのバージョンアップによる影響をできるだけ受けないシステムとし、システム運営の効率化を図ること。
- (2) クラウドサービスもしくはLGWAN-ASPの利用で提供されている製品を利用し、本県独自のカスタマイズは最小限にとどめることとする。受託者は本業務の提案時点において、具体的なシステム全体構成を提示すること。
- (3) オンプレミスを前提とするシステムの場合、知事部局、警察用として府内に少なくとも各1台のサーバを設置し、教育委員会（市町小中学校）用にはインターネット上に少なくとも1台のサーバを設置すること。
- (4) オンプレミスを前提とするシステムの場合、原則として静岡県情報処理基盤上での稼働となるため、サーバOS、システムソフトウェア、関係データベース管理ソフトウェア等については支障がないものを選定すること。
- なお、県側の責によらない理由で、必要領域が想定を超過する等の理由でストレージ増設が必要となった場合、県から費用負担を求める場合がある。
- (5) 自動運用、システム監視、システム通報など提案に基づき採用した要件について必要なソフトウェアを使用すること。
- (6) サービス利用者全体にかかる改修は、原則、追加費用負担なしで提供されるものとする。（改元や、各種法令改正への対応を想定しており、本県特有の改修については、この限りでない。）
- (7) Webブラウザのみで動作するWebアプリケーションシステムとし、特定のソフトウェアのインストールを必要としないこと。

また、利用可能なブラウザはそれぞれ以下のとおりである。

ア クラウドサービスを前提とするシステムの場合

知事部局、教育委員会（学校以外）	Soliton SecureBrowser II
教育委員会（学校）	Microsoft Edge、Google Chrome、Safari※
警察本部 警察署	RevoWorks SCVX(Google Chrome)

イ オンプレミスを前提とするシステムの場合

知事部局、教育委員会（市町小中学校以外）	Microsoft Edge
教育委員会（市町小中学校）	Microsoft Edge、Google Chrome、Safari※
警察本部 警察署	Google Chrome Microsoft Edge

※記載のブラウザの全てに対応すること。

- (8) 画面解像度に依存しないこと。
- (9) 本番環境のほかに利用可能な検証環境を用意すること。なお、物理的に異なる環境である必要はない。
- (10) 構築や保守等に必要な構築環境等は受託者が用意すること。
- (11) 現在、運用 SE 用と管理職員用に保守端末を計 2 台配備しており、管理職員用端末では旅行データの抽出や旅費公表用のデータ抽出を行っている。提案するシステム構成に応じて、保守端末が必要な場合は、必要台数、当該端末で行うことやセットアップ等について示すこと。

2 アクセシビリティ要件

- (1) 指示や状態の分かりやすさ
 - ア 十分な視認性のあるフォント、文字サイズにすること。
 - イ 文字サイズはWebブラウザの設定等により拡大・縮小できること。
 - ウ 色の違いを識別しにくいユーザを考慮し、ユーザへの情報伝達手段は、原則としてメッセージを表示し、色のみで判断するようなものは用いないこと。
- (2) 言語対応

画面上に表示する用語は、日本語であること。（多言語バージョンの場合はデフォルトを日本語とする。）

3 規模要件

「別添資料 1 要件定義書 4 現行システムの概要」に記載のとおり。

4 信頼性要件

- (1) システムは原則、24時間365日の稼働とすること。
- (2) 本システムに保管するデータ量やデータの保管期間については、要件の整理の中で調査を行い、本県と協議の上、決定すること。
- (3) 障害の発生を未然に防止する機能を有すること。
- (4) バックアップデータを取得し、障害発生前のできるだけ近い時点でのデータ回復を可能とすること。
- (5) 決算終了後、各年度のバックアップデータを取得し保存することが可能であること。

5 性能要件

- (1) オンライン処理に係るターンアラウンドタイムのうち、外部環境に依存する処理時間（ネットワークの処理等）を除いたシステムの処理時間は、通

常時3秒以内とすること。ただし本県が認める場合はこの限りでない。

- (2) バックアップ処理は日時等のスケジュールで自動的に処理すること。
- (3) 故障発生時のリカバリ許容時間は1日以内を目標とすること。

6 セキュリティ要件

- (1) ユーザ認証を行い、正当な権限のない者による情報へのアクセスやデータの不正な利用・改ざんが行われないよう必要なアクセス権限設定ができること。
オンプレミスを前提とするシステムの場合、県が利用しているWindows統合認証（アクティブディレクトリによる認証）に対応し、職員向けのポータルサイトからシングルサインオンすること。
- (2) システムのアクセス権の管理は旅費計算システム側で行え、それぞれの管理者権限にて権限設定や変更が柔軟かつ速やかに行えること。
- (3) アクセスログや操作ログ等、各種ログを収集できること。
- (4) システムは、許可したサーバのみ接続できること。
- (5) ウィルスによる被害を防止するため、ウィルス対策ソフトの導入を行うこと。
- (6) 本システムは、通信の暗号化にSSL/TLS方式を用い、信頼性の高い電子証明書を使用すること。
- (7) 設定された権限情報を基に、システムのリソースへのアクセス制御を行うこと。
- (8) 教育委員会（市町小中学校）においてはWindowsだけでなく、MacOSやChromeOSにも対応していること。
- (9) ログイン後、ある一定の未使用時間が経過した場合には、接続を遮断（エラー処理）するタイムアウト機能を有すること。
- (10) 静岡県セキュリティポリシー、静岡県教育情報セキュリティポリシー、静岡県警察セキュリティポリシーに沿ったものであること。
- (11) クラウドサービスの場合は、システム又は基盤において、ISMAP又はISMS（ISO/IEC27017）認証のいずれかを取得していること。

7 可用性要件

- (1) システムサービスの継続的な利用を可能とすることとし、障害が発生した場合は1日程度で復旧できること。
- (2) システムが利用者にサービスを提供すべき時間に対する、実際にサービスを提供した時間の割合は、99.5%以上とすること。
- (3) システム管理者等からのエスカレーションに対し、一次回答を行うまで

の平均時間は3時間以内とすること。

- (4) システム管理者等からの対応依頼を受けてからの対応要員を現地又はシステム管理者等の作業場所へ派遣し、障害対応を行う場合は、1時間以内に着手すること。

8 柔軟性・拡張性要件

- (1) 将来の制度改正、データ量の増加、処理件数の増加等に備え、柔軟性や拡張性を持ったシステムとすること。
- (2) 運用期間中に想定されるデータ量の増加等に対応すること。

9 データの可搬性の担保

- (1) 本システム内のデータについては、原則としてXMLやCSV等の標準的な形式で取り出すことができるものとすること。
- (2) パッケージ製品から抽出されたデータであっても、移行データフォーマットや移行データの権利は所管課に所属すること。
- (3) 技術的な理由により、提供することが難しいデータ項目がある場合には、代替案を提示することができるること。

10 運用管理要件

- (1) オンライン起動、停止、バッチ処理及びバックアップ等についてスケジュール化を行い、システムの自動運用が可能であること。
- (2) システムの稼働統計が取得可能であること。
- (3) セキュリティに関連したログを取得し、必要に応じて検査、確認できるとともに、パッチ適用中にトラブルが発生した場合には、直ちにパッチの適用前の状態に戻せること。
- (4) マスタデータは各年度単位で登録するが、システムの運用管理期間は年度終了後2か月とする。このため、毎年4月及び5月は2か年度（当該年度及び前年度）について、システムの運用管理を行うことができること。
- (5) 自動運用、システム監視、システム通報などの管理要件について提案すること。

11 その他

- (1) 現行システムから一部のマスタデータを移行する可能性がある。対象データは別紙6「移行データ一覧」のとおり。
- (2) 新システムを他のシステムへ移行する際は作業支援（データ出力等）を行うこと。